

令和5年度版

三重県地域医療支援センター キャリア形成卒前支援プラン

令和5年3月

三重県地域医療支援センター



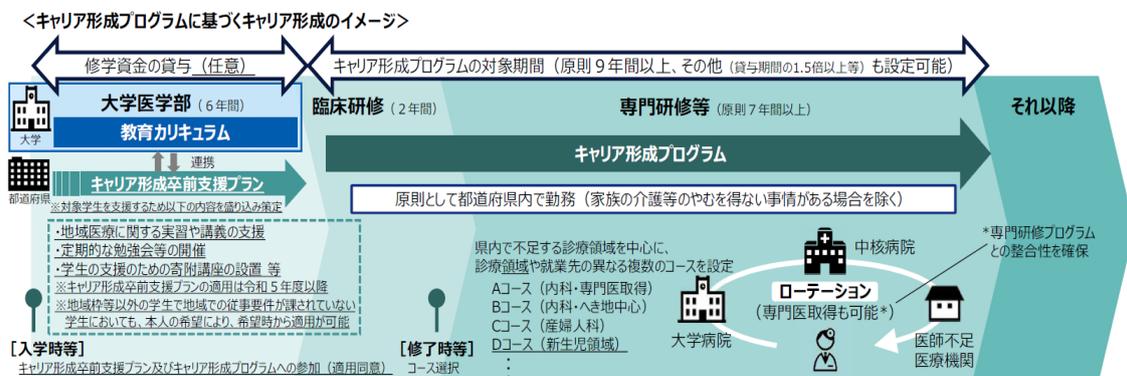
目 次

1	キャリア形成卒前支援プランの概要	1
2	対象者	1
3	対象期間	1
4	卒前支援プロジェクト	2
5	卒前支援プランの運用等	2
6	相談・問い合わせ	2
7	卒前支援プラン一覧	3
8	卒前支援プロジェクト (①～⑦)	4

三重県地域医療支援センターキャリア形成卒前支援プラン

1 キャリア形成卒前支援プランの概要

三重県では、三重県医師修学資金の貸与を受けた地域卒等の学生や自治医科大学の学生に対して、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的として、「三重県地域医療支援センターキャリア形成卒前支援プラン」を策定しました。



（出典：厚生労働省資料）

2 対象者

（1）キャリア形成卒前支援プランの対象者は、次に掲げる者を対象とします。

- ①地域卒で入学した学生（地域卒A、地域卒B、三重県地域医療卒）
- ②自治医科大学の学生
- ③その他キャリア形成プログラムの適用について同意した学生

（2）キャリア形成卒前支援プランの適用については、令和5年度以降に入学した者から適用されます。

なお、令和5年度以前の入学者についても参加することが可能です。

3 対象期間

本プランの対象期間は、入学時又は当該プランへの適用の同意を得た時から卒業までとします。

4 卒前支援プロジェクト

(1) 卒前支援プロジェクトの設定

本プランでは、大学や医療機関等と連携し、地域医療に関する実習や講義の開催等、将来地域医療に従事する意識の向上に資するため、大学ごとに「卒前支援プロジェクト」(P3～)を設定しています。

(2) 卒前支援プロジェクトの参加

対象者は、対象となる卒前支援プロジェクトに参加することとします。参加区分が必須の卒前支援プロジェクトについては、必ず参加してください。

5 卒前支援プランの運用等

本プランは、三重県地域医療支援センターが策定し、必要に応じて見直しを行います。

本プランの適用等、必要な手続きに関する様式は別に定めます。

6 相談・問い合わせ

○キャリア形成卒前支援プラン及び三重県医師修学資金貸与制度に関すること

三重県医療保健部 医療介護人材課 医師確保班
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL: 059-224-2326
FAX: 059-224-2340
E-mail: iryokai@pref.mie.lg.jp

○キャリア形成の相談に関すること

三重大学医学部附属病院 臨床研修・キャリア支援部
地域医療支援センター
TEL: 059-231-5529
FAX: 059-231-5114
E-mail: iryousien-t@clin.medic.mie-u.ac.jp

1 卒前支援プラン〔三重大学学生用（地域枠・一般枠）〕

実施主体	卒前支援プロジェクト		頁	参加区分	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	備考
三重大学	①	地域基盤型保健医療教育実習	4	必須	実習	実習					1学年、2学年とも必ず参加してください
	②	三重県地域医療講義	5	必須	講義						
	③	三重大学総合診療医養成プログラム（MieGP12）	6	希望者	実習等	実習等	実習等	実習等	実習等	実習等	参加できる人数に限りがあります
三重県	④	へき地医療体験実習・研修会	7	必須	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	5学年までに必ず1回以上参加してください
	⑤	地域医療体験実習	8	希望者	実習	実習	実習	実習	実習	実習	参加できる人数に限りがあります
	⑥	行政機関等現地研修会（地域枠入学者を対象）	9	希望者	地域訪問	地域訪問	地域訪問	地域訪問	地域訪問	地域訪問	参加できる人数に限りがあります

2 卒前支援プラン〔自治医科大学学生用〕

実施主体	卒前支援プロジェクト		頁	参加区分	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	備考
自治医科大学	⑦	自治医科大学 卒前支援プロジェクト 適用カリキュラム	10	必須	地域医療学 臨床実習	地域医療学	地域医療学	地域医療学 臨床実習	地域医療学 公衆衛生学 臨床実習	地域医療学 臨床実習	
三重県	④	へき地医療体験実習・研修会	7	必須	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	5学年までに必ず1回以上参加してください
	⑤	地域医療体験実習	8	希望者	実習	実習	実習	実習	実習	実習	参加できる人数に限りがあります

3 卒前支援プラン〔県外大学学生用〕

実施主体	卒前支援プロジェクト		頁	参加区分	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	備考
三重県	④	へき地医療体験実習・研修会	7	必須	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	実習・研修	5学年までに必ず1回以上参加してください
	⑤	地域医療体験実習	8	希望者	実習	実習	実習	実習	実習	実習	参加できる人数に限りがあります

① 地域基盤型保健医療教育実習

三重大学
学生

- 1 対象 三重大学学生（1学年及び2学年）
- 2 時期 通年
- 3 実施主体 三重大学
- 4 参加区分 必須（1学年、2学年とも必ず参加してください）
- 5 内容

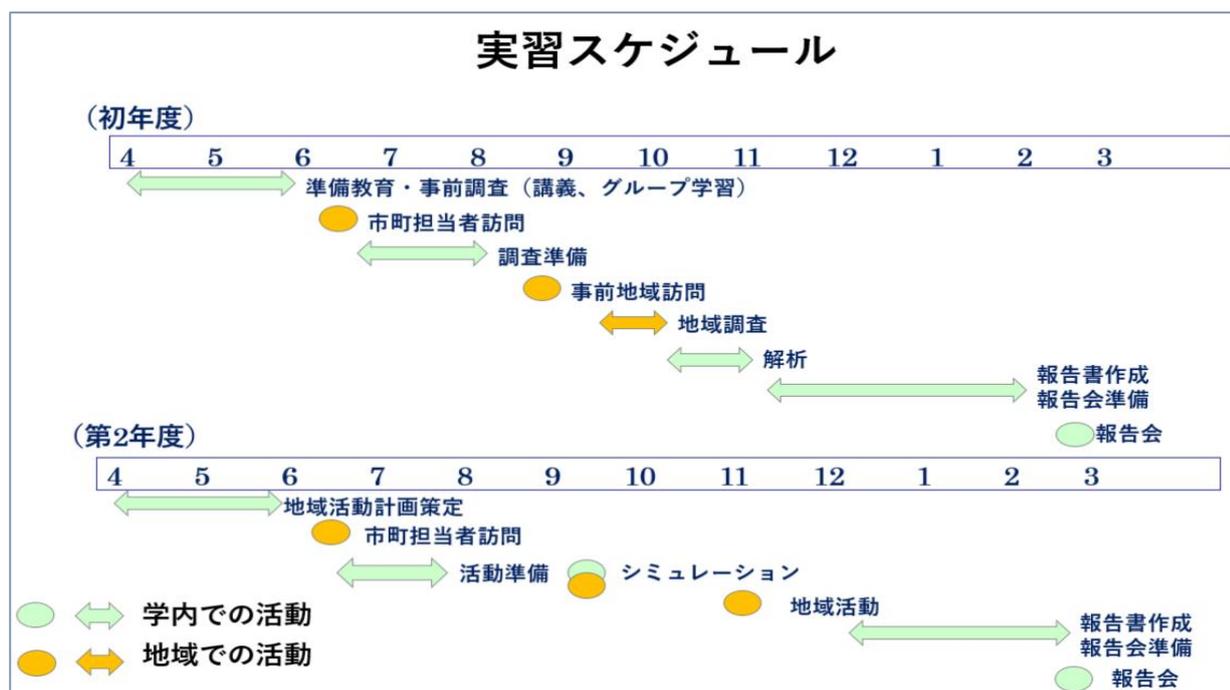
三重大学では、地域枠学生の受入と同時に、卒業生が地域に定着し、地域医療に貢献する医師を育てる教育として、医学・看護学教育センターが中心となり、三重大学、三重県、県内29全市町の協力による第1, 2学年を対象にした地域基盤型保健医療教育を導入しています。三重大学の方針として、地域枠学生が経験すべき地域医療教育をすべての学生に提供しています。

○第1学年 地域診断

グループ数人で構成する学生グループが、県内のいずれかの市町の数百人規模のコミュニティ（地域共同体）を担当し、医療人類学的手法を用いて地域調査を行い、その結果に基づいて、地域で暮らす人たちの健康上の課題や地域社会にある保健福祉上の課題を診断します。

○第2学年 地域貢献活動

地域調査の結果に基づいて、地域にある保健医療上の課題を抽出し、学生でも実施できる地域の人たちの健康の向上に貢献する活動、地域社会にある自立的な力を強化する活動（コミュニティ・エンパワメント）を計画します。活動計画の実施可能性や、効果の継続性を検討し、活動を実践します。



② 三重県地域医療講義

三重大学
学生

- 1 対 象 三重大学学生（1学年）
- 2 時 期 10月から11月（全6回）
- 3 実施主体 三重大学
- 4 参加区分 必須
- 5 内 容

医学部臨時定員増や地域枠の設定、医師修学資金の貸与等により、三重県内で医師の増加が予想される中、地域医療の厳しさや医師不足の状況だけでなく、地域医療の現場の状況、実態やキャリア形成への勤務経験の影響などの話を通じて、「地域医療の魅力、おもしろさ、やりがい」を伝え、将来、地域医療に関わる医師の増加、県全体の医療の質の向上をめざします。

○講義の例（令和4年度）

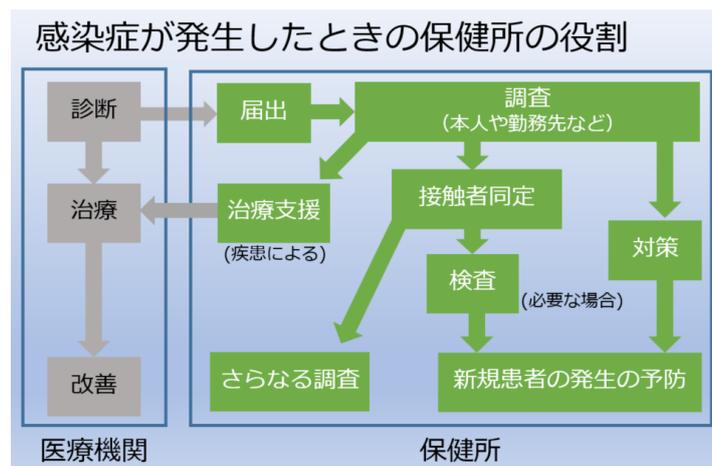
- 第1回 三重大で学んだ国際保健と地域医療
- 第2回 神島と地域医療と私
- 第3回 私と地域と自転車と
- 第4回 インドネシアでの経験から
- 第5回 地域医療と社会医学・公衆衛生
- 第6回
 - ・へき地は医者をもてにする
 - ・初期研修と地域医療
 - ・やさしい医療を問答する

令和3年度 「地域医療と国際保健」講義（令和3年11月11日）



地域医療と社会医学・公衆衛生 ～保健所ってナニモノ？～

三重県医療保健部 医療介護人材課
(兼) 三重県松阪保健所 保健衛生室 医師 市川 守佑



卒前支援プロジェクト

③ 三重大学総合診療医養成プログラム (MieGP12)

三重大学
学生

- 1 対象 三重大学学生
- 2 時期 通年
- 3 実施主体 三重大学
- 4 参加区分 希望者 (参加できる人数に限りがあります)
- 5 内容 (主な活動)

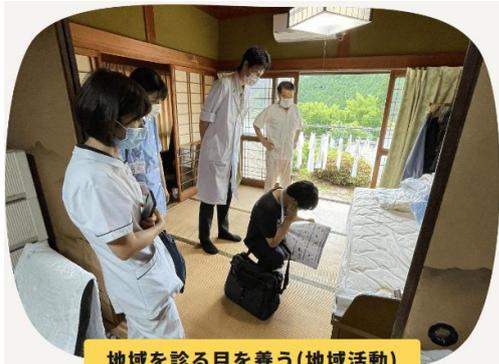
三重大学学生を対象に、総合診療医になりたい人や地域に貢献したい人が、地域で活躍する総合診療医になるための継続的なサポートを提供します。

○ 1 学年～対象 地域活動 “地域を診る目を養う”

地域の保健活動に参加したり、医療機関の見学をすることで、地域の医療保健問題を体験し、地域の方々とのコミュニケーション力を養います。

○ 6 学年対象 長期滞在型地域医療実習

長期間同じ地域に滞在し、地域の医療問題を体感することで、より実践的な臨床能力を身に着けます。また、同一医療機関で継続的に実習することで、診療科を横断する包括的な診療で患者を診る能力の涵養を図ります。



地域を診る目を養う(地域活動)

総合診療や地域医療では、ひとりの生活者としての患者さんの生活を理解し、患者さんを取り巻く人や環境、その基盤となる地域や仕事の様相に想いを馳せることが大切です。地域活動や地域の医療機関を見学・体験することで、地域のニーズを知り、地域を支援するマインドと能力を身につけます。(随時)



ダブルメンタリング制度

(Generalist Pathfinder System: GPS)

医師として成長する中で、誰もがキャリア形成や職場・学校での問題で迷い、悩みます。GPSでは一足先に総合診療の世界を歩んでいる地域の指導医と大学教員とがペアとなって、皆さんが抱える課題の解決を支援し、キャリアと人生をサポートします。(3か月毎)

出典：三重大学医学部附属病院総合診療部ホームページ

カリキュラムの概要

	1	2	3	4	5	6	研1	研2	専1	専2	専3	専4	
ステージ	臨床前学習				臨床実習		医師としての基盤		専門診療力				
授業 実習 企画	新医学専攻コース「総合診療」※												
	地域基盤保健医療教育		研究室研修		臨床実習	長期臨床実習	臨床研修		専門研修				
				講義	総合診療セミナー虎の穴								
	地域活動				地域の救急ワークショップ		地域医療研修会						
ダブルメンタリング制度 (Generalist Pathfinder System, GPS)													

卒前支援プロジェクト

④ へき地医療体験実習・研修会

三重大学
学生

自治医大
学生

県外大学
学生

- 1 対 象 全ての医学生
- 2 時 期 8月
- 3 実施主体 三重県へき地医療支援機構
- 4 参加区分 必須（5学年までに必ず1回以上参加してください）
- 5 内 容

へき地医療に志をもった医学生が、卒業後に携わることとなる地域医療に関する理解を深めるため、夏季体験実習を行います。



令和元年度 三重県 へき地医療体験実習・研修会

体験実習：8月21日（水）～24日（土）
研修会：8月24日（土）～25日（日）

出発会

※1時間程度

日時：8月21日（水）13:00～受付
場所：三重県庁講堂棟131・132会議室
（津市広明町13番地）

体験実習協力医療機関

- ・神島診療所（難島）・桃取診療所（難島）
- ・菅島診療所（難島）
- ・町立南伊勢病院 ・報徳診療所
- ・志摩病院 ・志摩地域医療福祉センター
- ・尾鷲総合病院 ・紀和診療所
- ・紀南病院（地域医療研修センターMETC）



※体験実習で感じた地域医療の魅力を
研修会の場で発表していただきます。

-講演
-シンポジウム
-ワークショップなど

へき地医療研修会

研修会場：大台町林業総合センター
交流会場：奥伊勢フォレストピア



⑤ 地域医療体験実習

三重大学
学生

自治医大
学生

県外大学
学生

- 1 対象 全ての医学生
- 2 時期 3月頃
- 3 実施主体 三重県地域医療研修センター（METCH）
三重県へき地医療支援機構
- 4 参加区分 希望者（参加できる人数に限りがあります）
- 5 内容

将来の三重県の地域医療の担い手となる三重県医師修学資金貸与制度利用者等の学生を対象に、地域医療に対する関心を高めるとともに、地域医療を担う医師としての資質能力を養成するため、早い時期から県内外の優れた地域医療現場を体験する機会を提供します。

○これまでの地域医療体験実習の実績

自治医科大学
 岐阜県飛騨高山地域
 島根県吉岐地域
 岩手県釜石地域
 高知県へき地医療夏季実習
 東京国分寺地域
 山口県萩地域
 高知県へき地医療夏季実習
 香川県綾川地域
 長崎県上五島地域
 高知県へき地医療夏季実習
 岐阜県揖斐地域
 福井県おおい市
 滋賀県伊吹地域
 川崎市井田地域
 岐阜県郡上地域
 山梨県山梨市地域
 青森県下北郡地域



⑥ 行政機関等現地研修会

三重大学
学生

- 1 対 象 三重大学学生（地域枠入学者を対象）
- 2 時 期 12月頃
- 3 実施主体 三重県
- 4 参加区分 希望者（参加できる人数に限りがあります）
- 5 内 容

将来、三重県の地域医療を担う地域枠学生を対象として、行政機関（保健所、市町保健センター、県庁）や地域医療の現場（病院）を訪問し、地域医療に関わる様々な主体やその取組について学びます。

○これまでの訪問先

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 平成23年度 | 三重県立こころの医療センター
三重大学医学部附属病院（ドクターヘリ） |
| 平成24年度 | 三重県庁、三重県松阪食肉衛生検査所 |
| 平成25年度 | 小児医療センターあすなろ学園、松阪保健所 |
| 平成26年度 | 伊勢赤十字病院（救急救命センター）
三重県立こころの医療センター |
| 平成27年度 | 三重大学医学部附属病院救急救命センター |
| 平成28年度 | 三重県立こころの医療センター |
| 平成29年度 | 三重県立子ども心身発達医療センター |
| 平成30年度 | 三重県立子ども心身発達医療センター |
| 令和元年度 | 三重県立子ども心身発達医療センター |



※「地域訪問活動」を名称変更

⑦ 自治医科大学卒前支援プロジェクト適用カリキュラム

自治医大
学生

- 1 対象 自治医科大学学生
- 2 時期 通年
- 3 実施主体 自治医科大学
- 4 参加区分 必須
- 5 内容

自治医科大学では、以下の地域医療に関する教育カリキュラムを、卒前支援プロジェクトの枠組みに位置付けています。

1 教育科目

教育科目名	授業科目名	学年
地域医療学	地域医療学総論	1 学年
	地域医療学各論 1	2 学年
	地域福祉実習	2 学年
	地域医療学各論 2	3 学年
	地域医療学各論 3	4 学年
	地域医療学各論 3	5 学年
	地域医療学各論 4	6 学年
社会医学	公衆衛生学	5 学年

2 臨床実習

実習科目	学年	所属講座
早期体験実習	1 学年	地域医療学部門
地域医療Ⅰ実習	4 学年	総合診療部門
地域医療Ⅱ実習	5 学年	地域医療学部門
地域保健実習	5 学年	公衆衛生部門
都道府県拠点病院実習	6 学年	地域医療学部門

※ 上記内容は令和4年度版。令和5年度版以降は、年度当初までに、対象学生にお知らせします。

出典：自治医科大学ホームページ

